

令和5年度 学校評価結果報告書

四国中央市立川之江南中学校

生徒421人(1年133 2年136 3年152) 保護者223人 教職員29人

△は昨年度2学期よりアップ ▼は昨年度2学期よりもダウン 【A評価は80%以上 B評価は70%~79% C評価は69%以下】

No.	分類	評価項目	肯定的評価			総合判定	達成状況	分析・考察(○)課題(●)	具体的改善方策	学校関係者評価	
			教員	生徒	保護者						
1	学校の姿勢	南中は楽しく生活できる。	92%▼	89%▼	84%	A	良好	○「楽しく生活できる」「安心して学べる」「生き生き活動」が概ね良好であることから、教職員が協力し合い、生徒のために日々努力している結果が現れている。 ●「安心して学べる」の評価が昨年度に比べ、三者とも下がっている。特に教員の評価が顕著に下がっているのは、危機感を抱いているためと考えられる。 ○生徒の日々の活動の様子が分かりやすいように工夫して、ホームページを作成してきた。保護者の方からは、分かりやすいと好評を得ている。 ○創立60周年の年として、体育祭など生徒が中心となって取り組んだことが、生徒の充実感の向上につながったと考えられる。	○年度当初に、再度課題点を洗い出し、教職員で共有し、具体的な対策を立て、チームとして安心・安全な学校づくりが行えるような組織づくりを行う。 ○学校行事だけでなく、様々な活動で生徒主体の取組が図れるように、生徒とともに検討する。 ○環境整備については、引き続き市教委とも連携して改善を図っていく。 ○ホームページの活用方法を検討し、より効果的な情報発信ができるように工夫する。また、コミュニティ・スクールの広援ボランティアの方々への連絡方法についても検討していく。	○学校行事を通して、生徒達の真剣さを感じた。生徒たちは、行事を行う中で成長し、自信を付けていると感じる。 ○生徒が安心して楽しく学校生活をする事ができているようで、大変うれしい。 ○行事を通して生徒たちの生き生きとした姿を見て成長を感じた。日々の先生方の指導のおかげであると思う。	
			A	A	A						
		南中は安心して学べる。	71%▼	85%▼	88%▼	A	概ね良好				
			B	A	A						
		3	南中で生徒は生き生き活動している。	93%▼	88%▼	87%	A				良好
				A	A	A					
4	南中は教室や廊下など、学ぶ環境が整備できている。	64%▼	75%△	79%△	B	改善が必要					
		C	B	B							
5	南中は便りやホームページで積極的に情報発信している。	100%△	91%▼	99%△	A	良好					
		A	A	A							
6	学校行事(体育祭、修学旅行、文化祭など)は適正である。	100%△	93%	96%△	A	良好					
		A	A	A							
7	先生は、温かい学校づくりに取り組んでいる。	96%▼	88%	90%△	A	良好	○生活アンケートや日頃の日記指導だけでなく、常に生徒の様子に気を配り、相談活動などを適切に行う。また、情報交換を教員間で共有し、迅速に対応できる体制づくりを行う。 ○若手教員が中心となり、ICT機器の活用方法などの研修を行い、デジタルとアナログのベストミックスを考えた、よく分かる楽しい授業づくりに努める。また、手法や資料などの共有を図る。 ○保護者や生徒の思いや願いに寄り添った部活動経営に努める。また、生徒への言葉遣いなどを見直し、適切な言葉掛けができるよう心掛ける。 ○生徒指導提要の職員研修を行い、生徒・保護者との関わり方について考える。				
		A	A	A							
8	先生は、生徒を理解している。	96%△	77%▼	84%	A	概ね良好					
		A	B	A							
9	先生は、よく分かる授業を提供している。	96%△	89%▼	87%▼	A	良好					
		A	A	A							
10	先生は、困ったことや相談ごとに適切に対応している。	96%△	84%▼	90%△	A	良好					
		A	A	A							
11	先生は、部活動に熱心に取り組んでいる。	100%	88%▼	92%	A	良好					
		A	A	A							
12	南中の教職員は、電話や懇談などでマナーを心得ている。	96%△	84%▼	94%△	A	良好					
		A	A	A							

No.	分類	評価項目	肯定的評価			総合判定	達成状況	分析・考察(○)課題(●)	具体的改善方策	学校関係者評価
			教員	生徒	保護者					
13		生徒はあいさつを頑張っている。	79%▼	91%▼	90%	A	概ね良好	○地域の方からは、挨拶が良くできるとお褒めいただくことが多い。校外でも挨拶がしっかりとできていると考えられる。	○地域からの声など、良いところはしっかりと生徒に伝えるとともに、教員自ら生徒に挨拶をしっかりと行い、生徒の意識向上に努める。	○登校の見守りをしているとき、生徒の方から挨拶があり感心している。後方からでも元気な声が聞こえて、うれしくなる。
			B	A	A					
14		名前を呼ばれたとき「ハイ」の返事ができる	70%▼	91%▼	91%△	A	概ね良好	●挨拶について、特に教員は、以前に比べて、生徒の意識が下がってきていると感じている。	○年度初めに、学校いじめ防止基本方針を再確認し、いじめの未然防止、早期発見、早期解決に努める。また、生徒の様子に気を配り、チームとして丁寧に生徒と関わって行けるよう心掛ける。	○中学校は暗くて少し近寄りたがたいイメージを持っていたが、生徒も笑顔で挨拶も大きな声でできるので入りやすく感じる。
			B	A	A					
15		履物をそろえることができる	75%▼	96%▼	79%△	A	概ね良好	●いじめに関する項目で、三者とも下がっている。生徒間のトラブルが増加していると考えられ、喫緊の課題と考えられる。	○教科主任や学力向上推進主任、研修主任、教務主任と連携を図り、定期的な教代会や校内研修を実施して授業の改善に努める。	○普段の学校生活の様子を見る機会が増えると、より深く学校のことを理解できるようになる。
			B	A	B					
16	グラウンドデザイン	いじめはなくなってきた(いる)と感じる。	60%▼	87%▼	71%▼	B	対策が必要	○課題や用具の準備については、保護者、生徒ともに向上している。特に生徒は意識して家庭学習や学習準備を行うようになってきたと考えられる。	○課題の適切な量や内容を、教科会等で検討し改善する。また、個に応じた課題の提出方法を特別支援教育コーディネーターなども交えて検討する。	○自転車の乗り方や交通マナーについて、常任委員会とも連携し、生徒主体で安全意識の向上につながる活動を計画、実施する。
			C	A	B					
17		生徒は学習用品や宿題忘れがない。	29%▼	82%△	77%△	B	対策が必要	●課題や用具の準備について、教員の評価がかなり低い。教員と生徒、保護者の評価が大きく異なる。教員の意識が高いとも考えられるが、評価の考え方の共通理解を図る必要がある。	○交通安全についても、教員と生徒、保護者の評価が大きく異なる。今年度、自転車による接触事故が多かったことも原因と考えられる。	
			C	A	B					
18		生徒は授業に満足している。	68%▼	90%	74%▼	B	改善が必要			
			B	A	B					
19		生徒は朝食を摂って登校している。		92%	95%△	A	良好			
				A	A					
20		生徒は交通ルールを守っている。	61%▼	97%△	97%▼	B	概ね良好だが課題もあり			
			C	A	A					
21		保護者は、学校の教育方針を理解している。	86%▼	91%△	92%△	A	良好	○コロナ禍が過ぎ、PTA活動も以前と同様に行えるようになった。そのため、徐々に参加率も向上してきている。また、PTA役員の方々をはじめ、専門部員の方々が積極的に協力してくださっている。	○今後も、保護者や地域と連携を密に図り、より生徒が楽しい学校生活を送れるよう協力体制を築いていく。	○コロナ禍が過ぎ、多くの学校行事に参加することができ、子どもの様子がよく分かった。
			A	A	A					
22		保護者は、子どもとのコミュニケーションをしっかりと取っている。	71%▼	93%△	94%	A	概ね良好	○地域の行事も再開し、PTA活動と同じく徐々に参加率が上がってきている。	○広報紙やHPを活用し、PTA活動の様子を積極的に発信していくことで、PTA活動への参加を促していく。	○年に1回程度、5つの小学校校区が合同で学校運営協議会を開催することができれば、学校と地域が更につながっていくと思う。
			B	A	A					
23	保護者としての役割	保護者は、PTA活動に積極的に参加している。	75%▼	62%△	57%△	C	課題はあるが、参加率は上がってきている	○参観日や各行事では、人数制限もなく開催することができた。そのため、多くの保護者の方に生徒の活動の様子を見ていただけた。	○公民館と連携し、中学校として地域行事へどのような形で協力することができるのか検討していく。	○拡大学校運営協議会で、中学生や保護者と協議する機会が持てることは良いことだと思うので、継続してほしい。
			B	C	C					
24		保護者は、地域の行事に子どもと一緒に参加している。	64%▼	61%△	57%△	C	課題はあるが、参加率は上がってきている	○町民運動会やふるさと祭りの手伝いを中学生が行い、喜ばれ、地域の大人と関わる場面が増えた。	○ICT機器などの活用も含め、現代に合った資料の配布方法なども検討する。また、HPや保護者メールを有効に活用する。	
			C	C	C					
25		保護者は、授業参観に積極的に参加している。	82%▼	88%	86%△	A	良好	●教員の視点と生徒や保護者の視点が大きく異なる。		
			A	A	A					
26		保護者は、学校・学年・学級便りや連絡文書をよく読んでいる。	75%▼	87%	80%▼	A	概ね良好			
			B	A	A					